



イノベーションと ものづくりのスタートアップ

カルナータカ州政府

1

インド: 世界トップクラスのイノベータ

2

カルナータカ州: インドIT業界における成長のパイオニア

3

エコシステムとインキュベーションセンターへの資金拠出

4

政策の推進

5

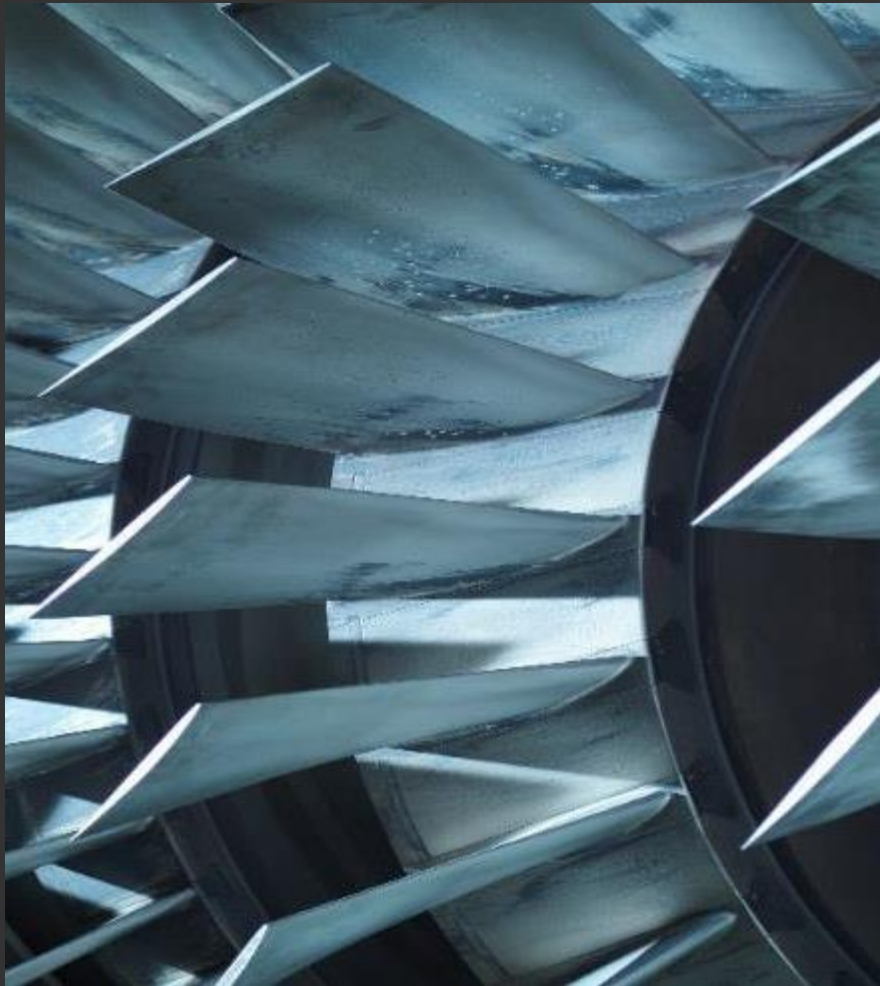
主要企業

6

将来的な事業機会



インド: 世界トップクラスのイノベータ



- ▶ グローバルイノベーション・インデックスで世界60位
- ▶ スタートアップ・エコシステムは世界第3位
- ▶ IT、バイオテクノロジー、医薬品、自動車部品、製造業のアセンブリーにおいて、世界のイノベーションを主導
- ▶ 垂直的成長: 製造業、エネルギー、ヘルスケア
- ▶ インキュベーションでの注目分野: 製造業、農業、エネルギー、ヘルスケア
- ▶ 2016年は、4,750以上の技術系企業がスタートアップ
- ▶ 主要なスタートアップハブ: バンガロール、デリー-NCR、ムンバイ (70%がスタートアップ)が前年比40%増

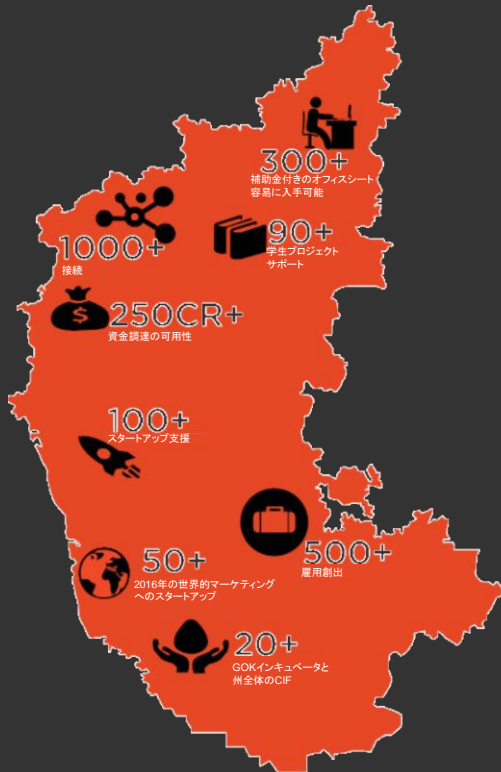
バンガロール、世界的なスタートアップエコシステム・インデックスにおいて、トップ20入りしたインド唯一の都市

セクターの概観

カルナータカ州



カルナータカ州: インドのスタートアップにおける成長のパイオニア



スタートアップ政策が主導するスタートアップに特化した部門

スタートアップ政策は、2020年までに 6,000の商品スタートアップを含む20,000の新スタートアップの成長を予想

テクノビジネス・インキュベータ(TBI) を通じて、研究開発機関と業界との強力な連携を推進

全国ソフトウェアサービス企業協会 (Nasscom) とカルナータカ州政府は、インキュベータを支援するために倉庫に725シートを確保しており、新規スタートアップはその中の325シートを確保

重点エリア:

- ▶ 情報・通信技術 (ICT)/ モノのインターネット (IOT)/ ソフトウェア商品
- ▶ 電子システムの設計、ロボティクス、3D印刷、マニファクチャリング4.0を含む製造業
- ▶ ヘルスケアとバイオ医薬品
- ▶ 農業と共同分野
- ▶ クリーンテック
- ▶ エネルギー
- ▶ 水と水のリサイクル
- ▶ 教育
- ▶ ナノテクと合成物

スタートアップの最大の目標:2016年現在で、1,300社以上のスタートアップが全体の資金調達の40%以上を占める

エレベート100:IT・バイオテクノロジー局の取り組みは、スタートアップの包括的な起業家プラットフォームの提供を目指している

エコシステムの インテグレータ



スタートアップ促進に向けたエコシステムとインキュベーションセンターへの資金拠出

事業機会への資金拠出

KARSEMVENファンド、10億ルピー

セクター: 半導体、電子システム設計・製造 (ESDM)、組込みシステムと他の同類のシステム.

IDEA2POCファンド、最大500万ルピー

セクター: すべての技術を基盤とするセクター

KITVEN ファンド-3 (バイオテック)、5億ルピー

セクター: バイオテクノロジー、ライフサイエンス、他の同類の分野.

スタートアップFOF、20億ルピー

セクター: マルチセクター

グラント・チャレンジ・ファンド、1.5億ルピー

セクター: 全セクター

AVGCベンチャー・ファンド、2億ルピー

セクター: アニメ、ビジュアル・イフェクト、ゲーム、コミック

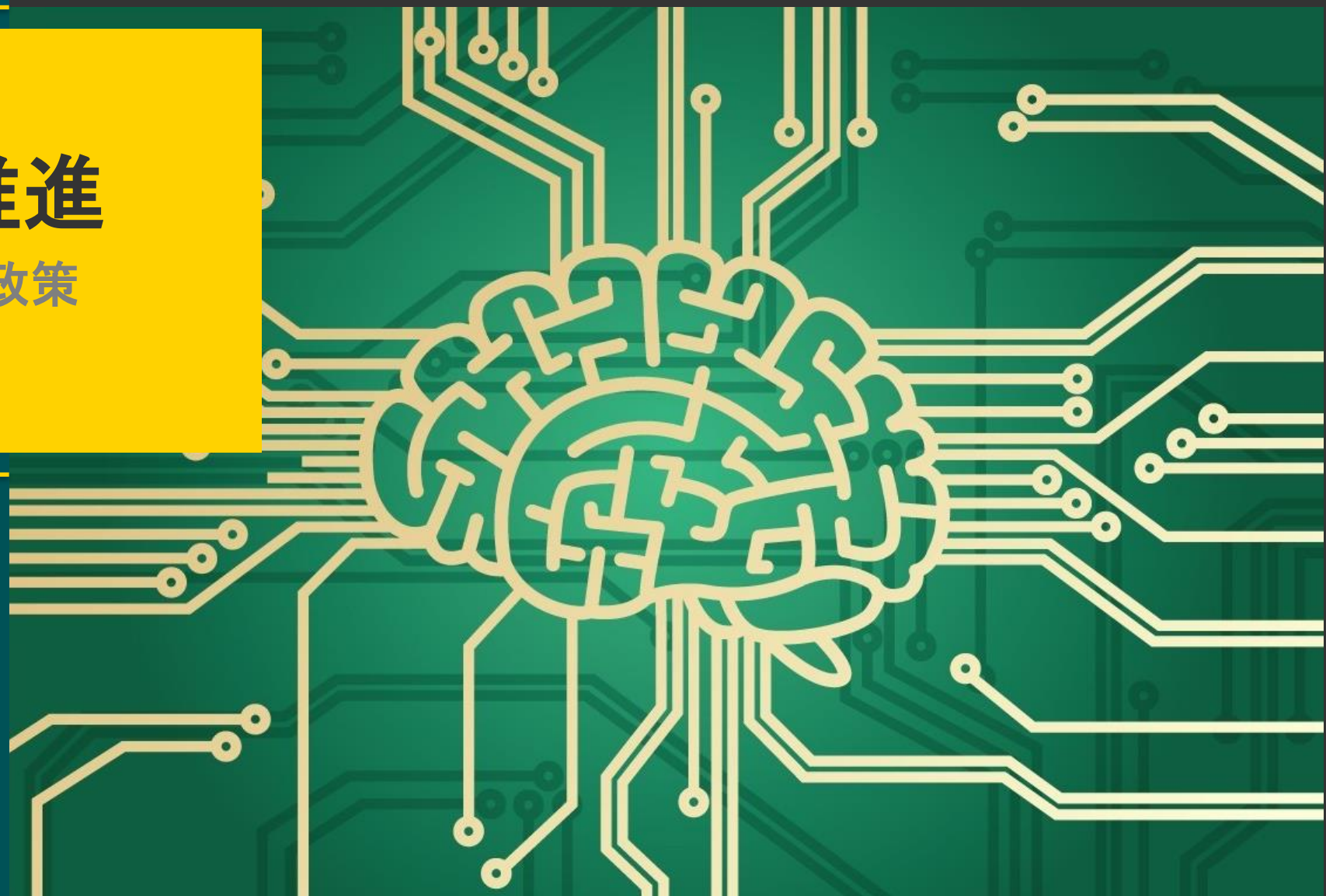
カルナータカ州の インキュベーションセンター

- ▶ GoK ナスコム10000スタートアップ倉庫
- ▶ テック・スタートアップ向けGoKインキュベータ (GifTS)
- ▶ GOK-モバイル 10X スタートアップ・ハブ
- ▶ IISCとIIMの連携でのインキュベーション・イノベーションセンター、バンガロール
 - ▶ ナノサイエンス・エンジニアリングセンター (CeNSE)
- ▶ 情報技術国際研究所 (IIIT)、バンガロール
- ▶ バンガロール、フブリ、マンガロールのインドソフトウェアテクノロジーズ・パーク (STPI)
- ▶ 製造業のバンガロール・ヘリックス・パーククラスター
 - ▶ バイオイノベーションセンター (BBC)
 - ▶ 生命情報科学・応用生物工学研究所 (IBAB)
 - ▶ 人類遺伝学センター (CHG)
- ▶ C-CAMPバイオインキュベータ、バンガロール
- ▶ N.M.A.M.I.T. ニッテMSMEインキュベーションセンター、ニッテ・カルカラ・タルク、ウドゥピ地区

政策の推進

スタートアップ政策

2015-2020年



強固な政策環境

社会的影響を視野にイノベーションを方向づけ

- ▶ 毎年、5つの目標を公表
- ▶ 省庁を通じて舵取りを行う
- ▶ 勝者は優先的にインキュベーションスペースが提供される

- ▶ RFPまたは業界団体を通じてパートナーを選別
- ▶ 3年間の政府支援
- ▶ 共通の計装設備(CIF)のネットワーキングと集約

PPPを通じてインキュベーション・インフラの構築

初期段階/アイデア
2 POC (概念実証)
資金拠出

- ▶ 概念実証の検証
- ▶ バーチャル・インキュベーション

- ▶ セミナーと実施体験旅行のための基本基金
- ▶ 世界会議に出席し貿易代表者や海外投資家と話し合う機会

能力強化

起業家はNAINを通じて教育を重視

- ▶ インキュベータ創設のため、第2級・第3級都市の専門家やPG仲間を支援
- ▶ 各パートナー機関が資金拠出する学生10名のプロジェクト



インセンティブ

- 初期段階のスタートアップのVATとCSTを返還
- 国内と海外申請のpatent費用を返還
- 各スタートアップの50万ルピーを対象に、各年でマーケティング費用の最大30%を返還
- 提携インキュベータのシートの10%を女性に割り当て
- さまざまな規定の下での自己申告制度

将来的な 事業機会



将来的な事業機会

主要企業



新たなエリアのスタートアップに対する資金拠出

1

2

カルナータカ州のハイテク・スタートアップに向けたエコシステムの構築

3

ヘルスケアと医療工学における技術革新

4

起業家とスタートアップの発展におけるAIの領域拡大

終わり